



～ 礼儀と節度を考える～

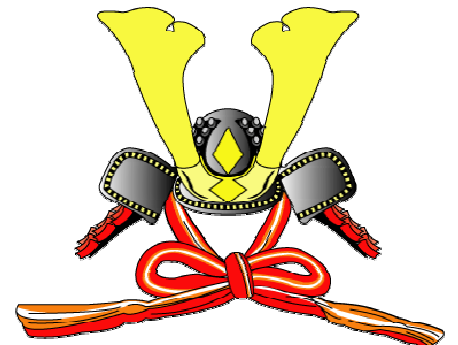
平成武師道

〈人間活動学〉

『笑』

まるで赤ん坊のように無邪気に喜ぶ純粋な笑い
歳を取るにつれ、なかなか味わうことがなくなった
いつの頃からだろうか
経験を重ねるごとに、何か心が心の中に引っかかる
腹の底から湧き出てくる笑い
その味さえ忘れてしまっている
人の不幸や失敗には、多くの笑いが落ちている
そんなものを拾って食べても腹も心も満たされない
結局、虚しく嫌な自分を感じるだけ
インスタントな笑いには体にも、心にも毒
わかっているけど楽な方を選んでしまう
そして心が毒される
人の成功を腹の底から喜ぶ笑い
何の混ざりもない純粋な笑い
作り方を忘れたのではなく
作ろうとしないだけ
自分の心に逃げていくだけ
人の悪口は自分の心を嘲るだけ
人を褒めるのは自分の心を褒めている

美味しい笑いを味わうには
心の壁を取り除こう
妬みや嫉みの壁を取り除こう
人の成功を我が成功と考えて
腹の底から味わおう
身近な小さな笑いも素直な気持ちで味わおう
そんな笑いと笑いで手をつなぎ
丸い地球に広げよう
円が縁になるように
人を褒めるのは自分の心を褒めること
腹の底から笑う笑いで
腹いっぱいになってみたい
笑いは地球を救う
笑いは自分を救ってくれる
笑いは最高の料理だと
純粋な気持ちで味わおう



希哉